

(一般情報)

とうもろこしの導入で緑肥と夏期収入のW効果！

～銚子野菜連合会とうもろこし栽培講習会を開催～

海匝農業事務所改良普及課 平成30年4月16日発

4月3日、銚子野菜連合会主催による「とうもろこし栽培講習会」が営農センター銚子で開催されました。種苗メーカー2社、農業事務所が講師を務め、生産者約120名に加えJA職員等の関係者が、品種特性や病害虫防除について講習を受けました。

銚子地域では、緑肥と同じ効果を期待してとうもろこしが導入されており、11月から翌年の6月までに収穫されるキャベツの後作として、7月から8月中旬にとうもろこしが収穫され、約50万ケース（1ケース5kg）が出荷されています。とうもろこしの茎と葉をすき込むことで、畑の地力維持に効果があるだけでなく、実を出荷することで、夏期の貴重な収入源にもなっており、近年栽培面積は増加傾向です。

農業事務所では、「持続可能な農業」「環境にやさしい農業」「環境保全」をキーワードに、関係機関と連携しながら「食の宝庫 海匝」の発展に向けた支援を行っていきます。



熱心に聴講する生産者